

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 心不全患者に対するアンギオテンシン受容体・ネプリライシン阻害剤に関するリアルワールドエビデンス』

研究機関名 日本大学医学部附属板橋病院

研究責任者 循環器内科 職位・氏名 教授・奥村恭男

【研究の目的】

東邦大学医療センター大森病院循環器内科では、心不全患者さんにおけるアンギオテンシン受容体・ネプリライシン阻害剤(エンレスト錠)の安全性および有効性を検証することを目的として、本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、本邦の心不全診療の発展につながることを期待できます。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。本研究には、東邦大学医療センター大森病院 池田隆徳を含め、企業との利益相反を有する者が参加しています。

対象者：2020年6月29日～2021年8月31日までに東邦大学医療センター大森病院循環器内科において、心不全の診断を受け、その治療目的にエンレスト錠が処方された方を対象としています。

方法：診療録(カルテ)から後ろ向きに抽出されたデータを解析する観察研究です。本研究は多機関共同研究として運営されています。参加施設は、兵庫県立淡路医療センター、岩手医科大学、順天堂大学医学部附属順天堂医院、聖マリアンナ医科大学、北里大学、国立循環器病センター、奈良県立医科大学、手稲溪仁会病院、久留米大学病院、聖隷浜松病院、弘前大学医学部附属病院、東海大学付属病院、三井記念病院、大阪医科薬科大学病院、大阪急性期・総合医療センター、東邦大医療センター大橋病院、日本医科大学付属病院、日本大学医学部附属板橋病院です。

【研究に用いられる試料・情報】

匿名化された診療情報：患者背景、病歴、診療の治療歴、副作用等の発生状況 等

【外部からの試料・情報の提供、外部への試料・情報の提供】

上記の各参加施設から東邦大学医療センター大森病院へ集められた患者情報を、データベースとして統合後に各参加施設へ提供することを予定しております。本研究でやり取りされるデータは全て匿名化された状態で扱われます。また個人の特定に繋がる個人情報は含まない状態でデータのやり取りが行われます。

【研究組織】

代表施設名：日本大学医学部附属板橋病院

研究代表医師：奥村恭男 役職：教授

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して

